

## 第76回 通常総会

### 農畜産物支払高40億2830万円

5月24日、第76回通常総会が農協2階会議室にて開催されました。

総会には正組合員164名のうち、委任・書面議決を含む117名が出席しました（出席率71.3%）。

議事においては、「令和5年度事業報告」や「令和6年度事業計画の設定」、特別決議事項である「定款の一部変更について」など6議案を審議し、全議案が可決されました。

中村組合長は昨年度を振り返り、「雪解けが早く天候にも恵まれたことから春耕作業は順調に進み、作物の生育は平年より早く推移した。6月以降は干ばつ傾向だったが小麦・馬鈴薯は平年以上の作柄となった。しかしながら、てん菜や豆類においては夏場以降の猛暑による高温多湿が災いし、品質低下が見られた。酪農畜産については、生乳生産抑制が強いられた中、記録的な猛暑による乳量の減少や和牛素牛価格の急落など厳しい1年となった」と説明し、「このような状況下ではあるが、当組合の農畜産物の支払高は交付金を除いて40億2830万円、経常利益9586万円、当期剰余金は8683万円となり、計画以上の成果を達成することができた。これもひとえに組合員皆さまの日々の営農努力と組合への結集の賜物と深く感謝を申し上げる」と挨拶をしました。

令和5年度事業における未処分剰余金は1億731万円となりました。また、事業分量配当金を3802万円、出資配当利率を0.8%とすることが提示されました。

6年度の収支計画では、事業総利益が4億8581万円、経常利益は3249万円を見込んでいます。

固定資産取得については、野菜用のハーフコンテナや小麦コンバイン、馬鈴薯集出荷センターの自動秤量機などを予定しています。



挨拶をする中村組合長

## 幕別町畜産共進会

6月3日、幕別町畜産祭りが南勢牧場多目的広場にて開催されました（幕別町畜産祭り実行委員会主催）。6月上旬としては少し肌寒くはありましたが、例年のような強い日差しや地面からの照り返しがなく、家畜には負担が少ない中で実施することができました。



町内の畜産農家のみなさんが丹精込めて育てた乳用牛26頭・肉用牛17頭が出陳され、体格や毛並などを競いました。

審査の結果、乳用牛の部において当組合員出陳の「セントベール ラミー ロクシー」号が経産牛部門でグランドチャンピオンに輝き、昨年に続き2連覇という快挙を達成しました。

共進会の後はバーベキューやお楽しみ抽選会が行われ、参加者同士が交流を深めることができ、充実した1日となりました。

## 女性部合同交流会

6月18日、女性部による下部組織合同交流会が帯広スズランボウルにて開催され、女性部・銀鈴会・友の会から総勢17名が参加しました。



例年はパークゴルフ大会を実施していましたが、今回は天候に左右されず屋内で気軽に楽しむことができるボウリング大会を企画しました。

ボウリングは2ゲームを行い、個人戦とチーム戦それぞれが白熱した熱戦となりました。特に後者は、2グループ対抗で1球ごとに交代しながら投げる「スカッチ方式」にて行ったことから、いつもとは違う緊張感があり、手に汗握るバトルが繰り広げられました。

ボウリングが終わってからは、焼肉バイキング・ウエスタンに会場を移し懇親会を行いました。1日を通して参加者にみなさんと親睦を深めることができ、大満足の交流会となりました。

## 青年部環境整備事業

6月17日、青年部の環境整備事業が実施されました。参加した部員14名により、依田地区のコンバイン格納庫や豊町の野菜集出荷センターなどの草刈りが行われました。

当日は最高気温が26度と朝から気温がぐんぐん上昇する中、ていねいに作業をしていただきました。

また、今年度最初の事業ということもあり、部員同士で近況報告を行う姿が見られるなど、有意義な時間を過ごしていました。青年部の皆さん、ありがとうございました。



## 十勝農業賞受賞

十勝の農業発展に貢献した農業者や指導者を表彰する「十勝農業賞」（十勝農協連主催）を、当組合の畜産部長、久保正樹が受賞いたしました。

6月15日、農協連ビルにて授与式が行われ、同連の鈴木雅博会長から賞状などが贈られました。

47回目となる同賞は、年間数名が選ばれてきた歴史があり、当組合の職員としては18年ぶりの受賞となりました。

